

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年 9月 2日 （ 16：50～17：30 ）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 若林、行広、藤原、久美田、平田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
0	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分達の事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか。	1	2	4	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか。	2	5	1	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	8			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	7	1		9

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 独居の利用者については自宅に居る間は民生委員に随時訪問をして貰い、連携を図っている。家族の負担軽減、独居で認知症が有り随時見守りが必要な方については宿泊利用に重点をおいて対応している。家族、本人の要望で宿泊日数の増減、曜日変更等について可能な限り調整を行っている。訪問介護の援助内容は随時、必要な援助に変更して対応している。チームケアを行う事で利用者の心身等の変化について経過観察し、記録、申し送りで情報共有が出来ている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 個々の利用者に地域で関っている人物等の情報について把握できていない為、活用も出来ていない。記録の見落としがあり情報が把握できていない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 個々の利用者の居住する区域の民生委員を把握し、必要時には協力援助を依頼し、体制を築く事で双方から情報提供、収集を行い、ケアプラン作成に活用していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年 9月 2日 ( 16:50~17:30 )

6. 連携・共同

メンバー 若林、行広、藤原、久美田、平田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		2		7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	1	7	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			4	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	2	3	9

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 作成担当者 (CM) が利用前後にカンファレンス開催し、その他のサービス機関との会議を行っている。定期的に運営推進会議を開催している。地域のサロンに該当する利用者が参加出来るように支援している。事業所に行事案内を掲示しており、近隣住民の方も情報を得て参加して下さる。避難訓練時には事前に協力要請をする事で行事の協力を得ている。一部で馴染みの関係が出来、野菜等も持って来てくれる事もある。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 作成担当者以外の職員については業務の都合上、参加出来ない事が多い。会議開催が困難な場合は電話等で情報提供、情報収集、連携を行なう事もある。運営推進会議に参加できる職員が業務の都合上限られている。現在、特定の地域に限りサロン参加を支援している。利用者の居住する地域の行事等の情報収集不足、地域の関係者とのネットワークの構築が出来ていない。行事等の情報提供が狭い範囲になっている。広報活動の努力が不足している。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 継続して町内のふれあいサロンに対象利用者が可能な限り参加出来るよう支援を行う。今後は送迎だけでなく、当該事業所職員もサロンに参加する事で地域と、より良い関係性を構築していきます。